



公益
社団法人 京都府放射線技師会

京放技ニュース

4 / 2015
(通算 659 号)

発行：(公社)京都府放射線技師会 TEL&FAX 075-802-0082 E-mail:kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp
ホームページアドレス http://www/kyohogi.jp/

〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ

振込郵便口座 01070-3-11019

ゆうちょ銀行 店名(店番) 109 当座 0011019 シャ)キョウトフホウシャセンギンカイ

公益社団法人京都府放射線技師会第 4 回通常総会のお知らせ

公益社団法人 京都府放射線技師会会長 轟 英彦
定款第 24 条の規定に基づき、下記の要領によって公益社団法人京都府放射線技師会
第 4 回通常総会を開催します。会員各位には、ご多忙中とは思いますが万障繰り合
わせて御出席になられますようお願い致します。

(尚、総会出欠はがきは 5 月 8 日(金)までに事務所必着)

日時：平成 27 年 5 月 9 日(土) 15:30～

会場：エーザイ株式会社 京都コミュニケーションオフィス (京都御幸ビル 8 階)

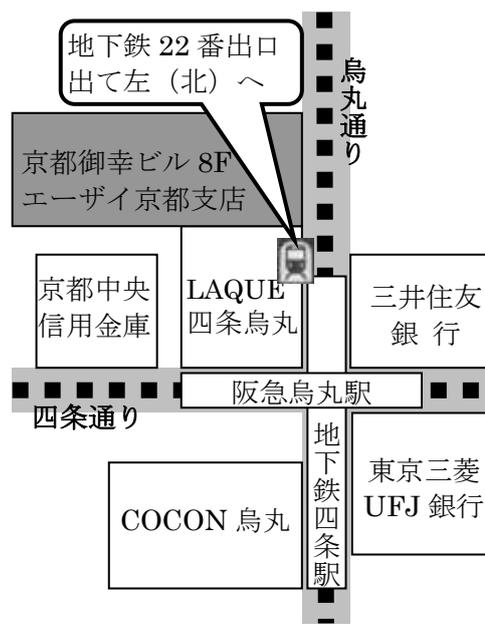
【総会次第】

開会の辞

議事

1. 議長選任の件
2. 平成 26 年度事業及び決算に関する件
 - (1) 平成 26 年度事業経過報告(案)
(総括報告及び各委員会報告)
 - (2) 平成 26 年度会計決算報告(案)
 - (3) 平成 26 年度監査報告
3. 名誉会員推戴の件
4. その他
5. 議事録署名人選任に関する件

閉会の辞



総会資料は 4 月 15 日からホームページに掲載いたします。ご覧ください。

尚、ホームページをご覧いただけない方は資料をお送りいたしますので、事務所までご連絡ください。

第 557 回研修会のお知らせ

学術委員会 原口 隆志

上記通常総会の前に研修会を予定しております。

日時：平成 27 年 5 月 9 日(土) 14:00～15:30

会場：エーザイ株式会社 京都コミュニケーションオフィス (京都御幸ビル 8 階)

会費：会員無料(非会員 500 円)

【予定講演】

テーマ：調整中(決定しだい、ホームページに掲載します)

新年度を迎えて ～飛躍の年に～

公益社団法人 京都府放射線技師会会長 轟 英彦

私が会長に就任してから 10 年目を迎えますが、その間、大きな出来事は「公益社団法人」として 3 年をかけて登録できたことです。さらに、今年は新たに 3 大イベントに取り組んでおります。

以下に今年度あるいはそれ以降の内容についてお話しいたします。

1、第 31 回日本診療放射線技師学術大会（京都開催）

平成 27 年 11 月 21 日(土)～23 日(祝月)までの 3 日間、国立京都国際会館にて開催されます。この 4 月 1 日より参加登録・演題登録が開始されました。プログラムもほぼ完成してきました。目標は参加登録 3,000 名、情報交換会 800 名を目指しておりますので、実行委員、参加、演題登録等いずれかの形で参加して頂きたいと思っております。目標達成にご協力・ご尽力いただきますようよろしくお願いいたします。

2、法令改正に伴う統一講習会の実施（静脈注射、下部消化管検査等 3 項目）

平成 27 年 2 月 12 日に診療放射線技師学校養成所指定規則及び臨床検査技師学校養成所指定規則の一部を改正する省令（文部科学・厚生労働省令第一号）及び、診療放射線技師法施行規則及び臨床検査技師等に関する法律施行規則の一部を改正する省令（厚生労働省令第一八号）が官報に掲載されました。これに伴い、文部科学省は学校教育に「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」1 単位と、「医療安全管理学」1 単位の計 2 単位が追加され、平成 32 年度の国家試験より導入を決定しております。厚生労働省も「医療安全の面から研修(統一講習会)は受けるよう医療機関へ通知する」としてあります。日本診療放射線技師会は厚労省から「認定指定された講習会」を開催するべく、準備を進めております（各都道府県で開催）。また、重要なことは、受講された診療放射線技師には、厚労省より「受講証明書（法律改正の認定資格）」が発行され、厚労省が受講者名を把握することも決定しております。平成 32 年度の国家試験までの 5 年間は猶予期間ですので、現役の診療放射線技師は全員受講していただくようお願いいたします。

3、原子力災害時の放射線被ばくの防止に関する協定についての取組

原子力災害時に多数の避難者に対する汚染スクリーニング等の放射線被ばく防止対策を円滑に実施するため、近畿圏危機発生時の相互応援に関する基本協定、関西広域連合と鳥取県との危機発生時の相互応援に関する覚書、関西防災・減災プラン及び関西広域連合・受援実施要綱に基づき、近畿府県（鳥取県を含む 2 府 8 県）及び関西広域連合は、日本診療放射線技師会及び各府県放射線技師会との間で、原子力災害時の放射線被ばく防止対策に関する包括的な協定の締結を行うための準備を進めています。

当会はこれに加えて、京都府との個別協定の詳細な準備を進めている段階です。業務として、以下の 4 項目があります。

- (1) 住民等の汚染スクリーニング及び除染業務の指導並びに実施
- (2) 放射線に関する専門的見地からの助言
- (3) 医療現場における患者及び医療従事者の放射線被ばくの防止に関する業務
- (4) その他住民等の放射線被ばくの防止に関する業務

京都府放射線技師会は会員と府民のため、鋭意努力をいたしますので、今後とも御協力の程、よろしくお願いいたします。

公益社団法人京都府放射線技師会新年会報告

厚生委員会 中川 稔章

1月24日(土)に府民公開講座の後、ルビノ京都堀川にて京都府放射線技師会新年会を開催し、賛助会員を含む54名が参加していただきました。午後6時より轟会長の挨拶の後、芦田暢夫名誉会員の乾杯の音頭により新年会が始まりました。



芦田名誉会員による乾杯の音頭

今年も賛助会員に自己紹介をしていただき、会員、賛助会員それぞれが情報を交換したりして大いに盛り上がる事ができました。

午後8時30分、河本副会長の閉会の挨拶により、和やかなうちに終了いたしました。

平成 26 年度近畿地域放射線技師会囲碁大会報告

京都チームは4位

厚生委員会 中川 稔章

第26回を迎えた近畿地域放射線技師会囲碁大会は、和歌山県勤労福祉会館 プラザホープにおいて2月1日(日)定刻10時に開催されました。

例年と変わらず寒い日となりましたが、60名を超える選手、役員、関係者が集い、各チームが優勝めざして熱き戦いを繰り広げました。京都チームは今年も優勝しようと選手が一致団結しましたが、健闘むなしく4位という結果で大会を終えました。

皆様長い一日本当にお疲れ様でした。なお、敢闘賞はこの大会4勝0敗の森江 彰選手が受賞されました。以下に団体と個人の結果を掲載します。

(団体の部)

優勝	大阪	4勝0敗	(14勝6敗)
準優勝	和歌山	3勝1敗	(12勝8敗)
3位	兵庫	2勝2敗	(11勝9敗)
4位	京都	2勝2敗	(9勝11敗)
5位	奈良	1勝3敗	(8勝12敗)
6位	滋賀	0勝4敗	(6勝14敗)

(個人の部)

小林 徹	(240)	1勝3敗
荒木 信義	(234)	1勝3敗
江南 伸治	(230)	1勝3敗
金津 武弘	(232)	2勝2敗
森江 彰	(208)	4勝0敗

()内数字は次回持ち点

役員：轟英彦 会長、中川稔章 厚生理事

通算成績

優勝・準優勝のみ 第1回大会(平成元年度)～第26回大会(平成26年度)

	参加回数	優勝	準優勝
京都	25回(第4回欠場)	9回	5回
奈良	25回(第2回欠場)	5回	4回
大阪	26回(欠場なし)	5回	5回
滋賀	24回(第1、4回欠場)	3回	3回
兵庫	26回(欠場なし)	2回	7回
和歌山	21回(第6回より参加)	2回	2回

2月7日の理事会にて「平成27年度京都府放射線技師会事業計画」が、3月7日の理事会にて「平成27年度収支予算書」が承認されましたので、下記に示します。

公益社団法人京都府放射線技師会会長 轟 英彦

平成 27 年度 京都府放射線技師会事業計画

公益社団法人京都府放射線技師会会長 轟 英彦

1. 総括

平成26年度の事業につきましては、会長就任9年目の年ではありましたが会員諸氏の協力を頂き無事終わることができました。

今年度も引き続き生涯教育セミナー「基礎技術講習会」をはじめ各種セミナーや被曝・機器管理講習会を積極的に開催します。又、学術研修会では公開講座を含め放射線技師の府民への関わりをさらに強くアピールしていきます。

また、京都府緊急被ばく医療ネットワーク会議、あるいは原子力災害時の相互応援に関する基本協定を関西広域連合防災局と連携しながら包括的な協定締結の準備を行い、京都府行政の一員として、京都府下で行われる原子力災害訓練にも積極的に参加していきます。

さらに、看護師養成学校や各種医療職養成施設に講師としておもむき、放射線の正しい知識を身につけて頂き、各施設で放射線検査がスムーズに行えるよう指導したいと思います。

各地域に対しては中学校をはじめ高等学校で「放射線とは何」と題して講義が行えるように関係機関と協議の場を持つよう努力します。

会員の減少という問題にも、日本診療放射線技師会と協力をしながらいろいろな事業に取り組み、対策を講じて行きます。今年度も京都府放射線技師会（各地方技師会も含め）と日本診療放射線技師会が一体となり事業を進めます。特に、今年度からは第186回通常国会で「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための法律の整備に関する法律」が可決し、診療放射線技師法の一部改正が成立し、この法律で追加された診療放射線技師業務内容について、統一講習会を各地域で開催し、府民にとって安心安全な医療を提供できるよう全力で取り組みます。このように、会員はもちろんのこと府民及び診療放射線技師にとってよりよい技師会を目指すのは勿論のこと、事業の内容も府民の目線に立ったものを目指します。さらに、今年は全国学術大会が京都府において開催されますので、準備に多大な労力を費やすこととなります。会員の絶大なるご支援ご協力をお願いいたします。

以上のように鋭意努力をして各事業の計画を出来るだけ早い時期から会員にお知らせすることにより、参加して頂けるよう、また、会員一人一人の参加が活力ですので、ご協力のほどお願いします。

2. 社会事業（広報・渉外・組織・調査）

(1) 例年通り、開催予定の「第42回くらしと健康展」へ主催者団体の一員として積極的に参加し、京都府民に放射線医療の啓蒙と放射線を利用した検査と治療に関わる悩みの相談や診療放射線技師の業務内容の理解と存在を直接アピールしていきます。「放射線なんでも相談コーナー」では、相談内容は従来の医療被曝だけでなく、新たに取り組む環境問題など、最新の問題や客観的知識を一般の人々に広報・啓蒙する必要があると考えます。さらに、府民の皆様に広く放射線技師業務を理解していただくために、放射線管理士委員会にも啓蒙活動を依頼・連携し、情報委員会の協力を得てホームページ上に逐次関連事項を掲載し、当法人の存在及び活動を会員だけでなく一般の人々にも社会性や公益性を案内し広く情報公開していきます。他には、他団体との連携を強化し、さまざまな機会をとおして講演活動を積極的に行います。

(2) 関連団体事業にも積極的に協力します。昨年度より京都府の原子力災害対策委員会の一員となり、行政（京都府）が開催します放射線（原子力関係）に関する放射線災害安全訓練・講習会などにも診療放射線技師の派遣を行い、地位向上を目指します。また、無資格者による放射線技師業務の防止については、関係機関（京都府・京都市・京都府医師会・京都府歯科医師会・京都私立病院協会）に要望書を提出し、コンプライアンス重視の社会風潮の中で、京都府民が安心して放射線診療を受けられるよう協力を求めています。

(3) 「第 50 回京都病院学会」については、今年度も実行委員・座長を送り積極的に協力し、会員が放射線技術向上への研究発表ができる場として活用することにより、他団体との交流の場としていきます。

組織調査活動について、各会員施設及び学校へ新卒者の京都府下への就職先リスト調査を依頼し、厚生委員会と協力して「フレッシュ診療放射線技師の集い」を開催すると同時に技師会への入会を推進し、会員間の求心力の向上、各地区委員の活性化に向けて全地区委員会および学遊会を開催し、委員の意見集約を行い技師会の事業推進への協力を促します。さらに、会員への調査事業を活発にするとともに、各地区委員会へ三役とともに参加をして問題点を洗い出し把握して活性化に役立てます。各地区の班編成を調査し再編成を含めて、地区活動を活発に行えるようにします。

そして、若い会員の意見の導入を積極的に行い、会の活性化に勤め、調査に関しては今会員が何を求め、何を知りたいかを把握した上で事業を推進していきます。

3. 研修事業（学術・放射線管理）

学術活動について、京都府放射線技師会の理念であります診療放射線技師の役割の充実と資質の向上を目指し、会員が望む生涯学習教育および会員相互の情報交換のできる研修会さらには府民に認められる研修会を基本に各関係団体の協力も得ながら行います。今年度も引き続き（公社）日本診療放射線技師会共催の基礎講習会等の開催（他府県との合同）も行ないます。研修会も開催し、内容は専門的なものから一般的な話題も取り入れ、府民向けの一般公開講座も行います。今年は当会主催の全国診療放射線技師学術大会を開催し、多くの府民に参加して頂けるよう努力します。これらの研修会は惹いては府民市民に還元されるものと考えています。

また、チーム医療の一員として、静脈注射（針刺しを除く）講習会改め「法改正に伴う統一講習会」を開催します。さらに、近畿地域の女性技師活動委員会にも助成をしていきます。

(1) 京都市内会場

特に開催月は決めず、土曜日を基本とし、年 5 回を目標に開催します。

但し、時間的余裕（3 時間）のある研修会や夜間、日曜日開催も考慮する。

(2) 両丹地区会場

開催期は限定せず、研修会を行なっていきます。

(3) 日本診療放射線技師会基礎講習会および統一講習会等の生涯教育・認定講習会を開催します

(4) 府民公開講座を年 1 回、研修会の一環として行ないます。

(5) その他

その都度開催予定

上級救命講習会に関しては京都市消防局等が行う上級救命講習を受講し、その技術の習得・維持に努めていただきたい。

* 研修会は会員無料、非会員は有料とする。

管理士活動について、管理士会の事業の推進を図るとともに、学術・広報・組織と連携し、「くらしと健康展」や講習会（研修）計画、放射線に関する実態調査など教育・編集・調査の三分野を充実させます。さらに、原子力関係の講習会や訓練・緊急被曝フォーラムなどに積極的に参加し、他府県の放射線管理士部会と交流も行います。京都医療科学大学と協力し、線量計の校正や被ばく管理に関する講習会を開催し、京都府下の各病院の被曝災害体制にも積極的に取り組みます。

4. 情報事業（編集・情報）

編集活動について、「京放技ニュース」は基本毎月 1 日発行とします。「京放技ニュース」は会員に対して最新情報を提供・会員相互の意見交換の一つでありますので、積極的な記事をたくさん投稿していただきたい。また、各委員会との連携を強め、充実した紙面と長期計画の掲載をし、予定が立てやすいように配慮します。また、「京都府放射線技師会雑誌」については年度末に発行しますが、昨年と同様に内容は府民をはじめ誰が読んでも参考になるものとし、さらに、これらのデジタル化も視野に入れて検討していきます。

情報活動については、京放技・日放技関係の記事をインターネットを通じて広報し、会員に対して迅速な情報提供を行い、会員の交流や教育を深めることを目的とし会員からの投稿記事の掲載を行うなどさらに整備し、各種団体とのリンクを積極的に行います。さらに、会員が認定されている

放射線管理士、放射線機器管理士、医用画像情報精度管理士、臨床実習指導教員、CT・MR 検査専門認定などを更新し、引き続き公表していきます。

京都府民に対して公益法人としての役割を十分に果たすようホームページでは府民向けの資料を整理するとともに、府民の方が積極的に活用して頂けるようにします。

また、公開講座をはじめ各種の放射線に関連するイベントの案内を行い、組織調査・広報渉外・放射線管理士ならびに放射線機器管理士と共に、様々な情報提供を行ない、府民の皆様に向けた医療被曝や医療機器コーナーを充実させます。さらに、放射線に関する質問に関しても活用して頂けるよう広報し、正確かつ迅速に答えられるようにし、診療放射線技師の業務を理解していただく為、各委員会と連携を深めることに努めます。

5. 厚生事業

厚生活動について、会員相互の親睦を図るための重要な事業であることから、懇親を深める事業を計画します。また、フレッシュ診療放射線技師の集い、新年会は例年通り開催します。

6. その他

(1) 第 31 回日本診療放射線技師学術大会（京都開催）

平成 27 年 11 月 21 日から 23 日の開催に向けて、全力で努力いたします。

(2) 表彰関係

昨年度の実績を踏まえて、個人（会員）・団体に対する表彰を積極的に行います。

平成 27 年度収支予算書（収支ベース）

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

科目	予算額	前年度予算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①基本財産運用収入				
基本財産運用収入	250	250	0	
②受取会費収入	5,595,000	5,625,000	△ 30,000	
正会員会費収入	4,920,000	4,950,000	△ 30,000	会員 472 名 新入会 20 名
賛助会員会費収入	675,000	675,000	0	25,000 円 × 27 社
③事業収入				
広告料収入	850,000	850,000	0	
④受取補助金収入		90,000		
日本診療放射線技師会補助金収入	0	0	0	
地方公共団体補助金収入	90,000	90,000	0	
⑤受取負担金収入				
日本診療放射線技師会負担金収入	50,000	50,000	0	
⑥寄付金収入				
寄付金収入	10,000	10,000	0	
⑦雑収入	10,300	1,300	9,000	
受取利息	300	300	0	
雑収入	10,000	1,000	9,000	
⑧特定資産取崩収入	0	0	0	
記念事業積立金	0	0	0	
事業活動収入合計（A）	6,605,550	6,626,550	△ 21,000	
2. 事業活動支出				
①事業費	4,411,000	4,354,200	56,800	
印刷製本費	1,100,000	1,100,000	0	
通信運搬費	436,500	436,500	0	
通信運搬費	40,000	40,000	0	
連絡費	360,000	360,000	0	
IT 関連費	30,000	30,000	0	
電話料	6,500	6,500	0	

賃借料	会場費	350,000	400,000	△ 50,000	
諸謝金	講師費	260,000	259,000	1,000	
近畿地域学術大		0	0	0	
公益法人記念式典		0	0	0	
福利厚生費		445,000	405,000	40,000	
	調査研究費	120,000	80,000	40,000	
	図書費	5,000	5,000	0	
	福利厚生費	280,000	280,000	0	
	渉外費 (慶弔)	40,000	40,000	0	
会議費		197,500	177,500	20,000	
	学術	20,000	20,000	0	
	編集	20,000	20,000	0	
	広報渉外	7,500	7,500	0	
	組織調査	20,000	20,000	0	
	管理士会	30,000	15,000	15,000	
	厚生	5,000	5,000	0	
	情報	25,000	25,000	0	
	特別	20,000	15,000	5,000	受賞者選考、選挙管理
	地区 (7 地区)	50,000	50,000	0	
旅費交通費		430,000	400,000	30,000	
	学術	50,000	50,000	0	
	編集	30,000	30,000	0	
	広報渉外	10,000	10,000	0	
	組織調査	45,000	45,000	0	
	管理士会	80,000	60,000	20,000	
	厚生	20,000	20,000	0	
	情報	25,000	25,000	0	
	特別	45,000	35,000	10,000	受賞者選考、選挙管理
	地区 (7 地区)	125,000	125,000	0	
広報渉外		85,000	90,000	△ 5,000	
	くらしと健康展	65,000	70,000	△ 5,000	
	関連団体	20,000	20,000	0	
事業雑費		5,000	5,000	0	
給料手当		528,000	487,200	40,800	
	給料通勤手当費	520,000	480,000	40,000	
	法定福利費	8,000	7,200	800	
租税公課費					
	諸税	45,000	55,000	△ 10,000	
受信費					
	電話料	55,000	55,000	0	
消耗品費		90,000	100,000	△ 10,000	
	消耗品	70,000	70,000	0	
	印刷費	20,000	30,000	△ 10,000	
光熱水料費		40,000	40,000	0	
消耗什器備品費		15,000	15,000	0	
リース費		47,000	47,000	0	
支払負担金		12,000	12,000	0	
委託費					
	事務所管理費 2 階	258,000	258,000	0	
保険料					
	火災保険料	12,000	12,000	0	
②管理費		2,012,540	2,068,540	△ 56,000	
給料手当		487,500	528,000	△ 40,500	
	給料通勤手当費	480,000	520,000	△ 40,000	
	法定福利費	7,500	8,000	△ 500	
会議費		315,000	325,000	△ 10,000	
	理事会費	130,000	140,000	△ 10,000	
	各委員会費	80,000	80,000	0	

役員活動費	40,000	40,000	0
総会開催費	15,000	15,000	0
総会準備費	50,000	50,000	0
旅費交通費	585,000	585,500	△ 500
理事会旅費	340,000	342,000	△ 2,000
各委員会旅費	145,000	143,500	1,500
役員活動旅費	100,000	100,000	0
租税公課費			
諸税	30,000	30,000	0
支払負担金	8,000	8,000	0
受信費			
電話料	80,000	80,000	0
消耗品費	110,000	120,000	△ 10,000
消耗品費	70,000	70,000	0
通信費	40,000	50,000	△ 10,000
光熱水料費	100,000	100,000	0
消耗什器備品費	15,000	15,000	0
リース費	47,000	47,000	0
委託費			
事務所管理費 1 階	140,040	140,040	0
保険料			
火災保険	10,000	10,000	0
渉外費	60,000	60,000	0
管理雑費	25,000	20,000	5,000
③特定預金積立金	0	0	0
特別事業	0	0	0
備品購入	0	0	0
事務所整備	0	0	0
マンション改修	0	0	0
④記念事業積立預金			
創立 70 周年記念事業	50,000	100,000	△ 50,000
事業活動支出合計 (B)	6,473,540	6,522,740	△ 49,200
事業活動収支差額 (A) - (B)	132,010	103,810	28,200
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入	0	0	0
2. 投資活動支出			
固定資産取得費	0	0	0
事務所購入費	0	0	0
什器備品購入費	0	0	0
投資活動支出合計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入	0	0	0
2. 財務活動支出	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費 (C)	132,010	103,810	28,200
当期収支差額 (A) - (B) - (C)	0	0	0
前期繰越収支差額	911,136	596,136	315,000
次期繰越収支差額	911,136	596,136	315,000

(注) 借入金限度額 1,000,000 円
債務負担額 10,000,000 円

第 11 回理事会報告 平成 27 年 3 月 7 日

議長に長岡理事、書記に平井理事を選任し午後 16 時 00 分より議事に入った。

I. 経過報告及び計画に関する件**1) 経過報告及び計画 (議会長)**

(経過報告)

- ・ 2 月 7 日 新春賀詞交歓会 (ホテルグランヴィア京都)
- ・ 2 月 14 日 平成 26 年度第 2 回近畿地域放射線技師会会長副会長会議 (榎原ロイヤルホテル)
- ・ 2 月 15 日 平成 26 年度近畿地域放射線技師会学術大会 (奈良県社会福祉総合センター)
- ・ 東海四県放射線技師会学術大会 (メルパルク名古屋)
- ・ 2 月 21 日 日本放射線技師会第 6 回理事会 (日放技事務所)
- ・ 全国学術大会打ち合わせ (日放技事務所)
- ・ 2 月 28 日～3 月 1 日 全国統一講習会講師育成講習(日放技事務所)
- ・ 3 月 7 日 平成 26 年度京放技第 11 回理事会 (京放技事務所)
- (計画)
- ・ 3 月 14 日 京都医療科学大学卒業式 (京都医療科学大学)
- ・ 全国学術大会プログラム委員会 (京放技事務所)
- ・ 3 月 21 日 学遊会 (BBQ) (友愛の丘)
- ・ 3 月 29 日 来年度事業計画を京都府に申請
- ・ 4 月 4 日 期末監査 (京放技事務所)
- ・ 4 月 11 日 平成 27 年度京放技第 1 回理事会 (京放技会議室)
- ・ 4 月 16～19 日 第 71 回日本放射線技術学会大会(バシフィコ横浜)
- ・ 5 月 9 日 第 557 回研修会 (エーザイ会議室)
- ・ 第 4 回通常総会 (エーザイ会議室)
- ・ 平成 27 年度京放技第 2 回理事会 (エーザイ)
- ・ 6 月 5 日 エックス線発見 120 年記念式典
- ・ 6 月 6 日 日本診療放射線技師会総会 (その他)
- ・ 全国学術大会への協力依頼を京都府下 100 施設宛てに文書発送
- ・ 公益法人監査修正・・・3 月中旬までに再提出

2) 委員会報告及び計画**【庶務】皿谷理事**

- ・ 会員数 2 月 28 日現在 502 名 (先月±0)
- (内訳) 名誉会員 4 名、正会員 471 名、賛助会員 27 名 (社)
- ※平成 26 年度新入会累計 25 名 (再入会 1 名含む)
- ・ 委員会報告
- ・ 対外文書 58 件、発刊文書 6 件 (2 月 1 日～2 月 28 日)

【財務】渡里理事

- ・ 会費納入状況 (平成 27 年 1 月末日現在)
- 平成 26 年度分を 17 名が納入 合計 399 名(85.0%)
- 平成 25 年度分未納者 5 名、平成 24 年度分未納者 1 名
- ・ 平成 26 年度 2 月会計収支報告書
- ・ 2 月 28 日 財務委員会開催 (京放技事務所)
- ・ 3 月 3 日 財務委員会開催 (京放技事務所)
- ・ 会費未納者へ再度要求 (電話連絡)
- ・ 平成 27 年度予算書案の訂正を承認
- ・ 日放技より会員資格停止になった大田 和志氏、石井 詠奈子氏、安東 寧浩氏、村上 悦子氏の 4 名の京放技会員資格停止を承認

【学術】原口理事

- ・ 2 月 15 日 平成 26 年度近畿地域放射線技師会学術大会開催 (奈良県社会福祉総合センター)
- ・ 2 月 21 日 第 31 回日放技学術大会打ち合わせ (日放技事務所)
- ・ 2 月 28 日～3 月 1 日 全国統一講習会講師育成講習(日放技事務所)
- ・ 3 月 14 日 第 31 回日放技学術大会実行委員会予定(京放技事務所)

【編集】中島理事

- ・ 2 月 14 日 会長副会長会議書記として出席 (榎原ロイヤルホテル)
- ・ 2 月 15 日 近畿学術大会参加 (奈良県社会福祉総合センター)
- ・ 2 月 24 日 3 月号ニュース校了
- ・ 3 月 23 日 4 月号ニュース編集作業予定 (田辺中央病院)

・ 京都府放射線技師会雑誌の原稿提出要請

【広報・渉外】新井理事

- ・ 2 月 18 日 第 51 回くらしと健康展報告書を事務局から送付
- ・ 2 月 23 日 平成 26 年度京都府公衆衛生事業補助金の交付通知
- ・ 3 月 3 日 第 50 回京都病院学会第 2 回実行委員会プログラム委員会／第 4 回理事会出席 (京都私立病院協会会議室)
- ・ 4 月 7 日 第 50 回京都病院学会第 3 回実行委員会／第 5 回理事会合同開催出席予定 (京都私立病院協会会議室)
- ・ 学術実績資料および収支締め切り後の財務収支データの協力要請
- ・ 補助金申請書に平成 26 年度監査報告書を添付するが、この監査報告書は 4 月 11 日の理事会承認を得ていない段階での提出になるので、承認前の監査報告書を提出することを承認
- ・ 第 50 回京都病院学会準備委員残り 4 名の選出依頼養成

【組織調査】久保田理事 (庶務理事代読)

- ・ 2 月 23 日 各地区理事へ学遊会案内をメール配信
- ・ 2 月 25 日 西南部地区委員会 (大阪医大)
- ・ 3 月 4 日 厚生&組織調査合同委員会
- ・ 3 月 21 日 学遊会 (BBQ) 開催予定 (友愛の丘)

【厚生】中川理事

- ・ 3 月 4 日 組織調査・厚生合同委員会 (京放技事務所)
- ・ 3 月 21 日 学遊会 (BBQ) 開催予定 (友愛の丘)

【情報】中田理事

- ・ 2 月 8 日 ホームページに学術大会 PR-CD から会長、知事、市長のお言葉の動画を掲載
- ・ 2 月 25 日 求人情報を掲載
- ・ 3 月 4 日 京放技ニュース PDF を掲載

【管理士】山根理事

- ・ 2 月 15 日 近畿学術集会にて管理士ミーティング、線管理士分科会出席、一般演題にて 1 演題発表 (奈良県社会福祉総合センター)
- ・ 3 月 19 日 管理士委員会開催予定 (亀岡市シミズ)

【受賞者選考委員会】河本副会長

- ・ 2 月 9 日 無資格者防止についてのお願ひ (京都府庁福祉部医療課、企画課)
- ・ 2 月 10 日 府民公開講座開催報告書、資料提出 (京都新聞本社)
- ・ 2 月 15 日 東海 4 県放射線技師学術大会参加 (メルパルク名古屋)
- ・ 2 月 21 日 祇園祭振興会理事長へ挨拶日程調整・打ち合わせ
- ・ 2 月 22 日 同志社吹奏学部の顧問、部長へ挨拶
- ・ 3 月 1 日 近畿赤十字放射線技師研修会参加

II. 地区経過報告及び計画に関する件**【北地区】山本理事 (庶務理事代読)**

- ・ 2 月 19 日 技師法改正に伴う統一講習会のお知らせ、アンケート調査を連絡網にて配信
- ・ 3 月 1 日 地区委員に学遊会への参加呼びかけ

【中地区】楡理事

- ・ 2 月 9 日 連絡網にて近畿学術大会の詳細なプログラムを配信
- ・ 2 月 15 日 近畿学術大会 5 名参加 (内 1 名発表)
- ・ 2 月 18 日 連絡網にて、技師法改正の内容、超音波講習、日放技からのアンケート調査への協力依頼について配信
- ・ 2 月 21 日 連絡網にて学遊会のお知らせの配信
- ・ 2 月 24 日 再度、連絡網にて学遊会の詳細について配信

【東地区】長岡理事

- ・ 2 月 20 日 法令改定、X 線診療室内での撮影操作に関するアンケートを地区委員に配信
- ・ 2 月 24 日 学友会案内を配信

【西地区】平井理事

- ・ 2 月 15 日 近畿放射線技師会学術大会参加 (奈良県社会福祉総合センター)
- ・ 2 月 20 日 西地区委員へ「エックス線診療室内での撮影操作に関わる調査」送信

- ・ 西地区一斉メールにて「法改正に伴う統一講習会」、「エックス線診療室内での撮影操作に関わる調査」送信
- ・ 3 月中に委員会を開催予定
- 【南地区】大西理事
- ・ 2 月 15 日 近畿学術大会参加（4 名参加）
（奈良県社会福祉総合センター）
- ・ 2 月 18 日 基礎技術講習「超音波」とエックス線診療室内での撮影操作に係る調査の案内をメール配信
- ・ 2 月 28 日～3 月 1 日 全国統一講習会講師育成講習
（日放技事務所）
- ・ 3 月 5 日 南地区委員会の日程調整、学遊会案内をメール配信
- ・ 3 月 京都医療センターにて南地区委員会を開催予定
- 【両丹地区】上田理事（城下理事代読）
- ・ 2 月 12 日 近畿学術大会プログラムメール配信
- ・ 2 月 18 日 技師法改正のお知らせ、法律改正に伴う統一講習会のお知らせ、エックス線診療室内での撮影操作に係る調査についてメール配信
- ・ 2 月 26 日 平成 27 年度連絡網調査（FAX 対応 2 施設に）
- 【西南部地区】松本理事
- ・ 2 月 9 日 近畿地域放射線技師会学術大会の案内メール送信
- ・ 2 月 12 日 第 3 回西南部地区委員会開催案内をメール送信
- ・ 2 月 15 日 近畿地域放射線技師会学術大会参加
- ・ 2 月 17 日 技師法の一部改正の案内メール送信
- ・ 2 月 25 日 第 3 回西南部地区委員会開催
（大阪医大）
地区委員会終了後、交流会を開催

III. その他

1) 近畿学術大会総括（轟会長）

前日に会長副会長会議が開催されたのでその報告です。2 月 12 日の官報にて法改正が正式に通知されました。業務拡大に伴う講習会が全国で 7 月以降に開催される予定ですが、京都では全国学術大会もあり、年末年始ごろに開催するつもりです。X 線発見 120

周年記念式典に来賓として秋篠宮妃殿下、厚労省大臣、医師会会長、医学会会長が決まっている。京都府からも代議員が出席します。近畿地域放射線技師会から近畿診療放射線技師会に変更されました。平成 27 年度近畿診療放射線技師会学術大会はピアザ淡海で 2 月 14 日に開催されます。京都で全国大会が開催された後ですので、演題が集まりにくいだろうと国際交流をメインに開催する予定です。

近畿学術大会は大成功に終わったとお礼を奈良県会長よりいただいている。京都からも 46 名が参加されてよかった。全体として 421 名（一般人除く）の参加は過去最高記録であった。

2) 全国学術大会について（北村副会長）

2 月 21 日に日放技にて委員会を開催した。会告に記載する利益相反と倫理をしっかりと考察しました。大卒のプログラムの最終確認を行った。外国人の市内見学、病院見学等に関しても話し合った。3 月 14 日の委員会にて報告する。学会開催中の事故に関しては、日放技会員が加入している団体保険で運用できるように調節しています。その後も、地方で行っている研修会でも団体保険が適用できるようにも調節する

3) 法改正に伴う統一講習会について（大西理事）

2 月 28 日に講師育成講習会に参加した。初日は 13 時半から 20 時まで、2 日目は 8 時半から 16 時までの開催でした。4 月以降に全国で開催される統一講習会では BLS も含まれることが決まっています。静脈注射（針刺しを除く）と下部消化管、BLS の実習が各 4 ブースずつ並行して行われ、合計 12 ブース。教員は最低でも 24 人以上が必要と思われる。近畿各地区の代表者と話し、地区での協力が必須であるというのが皆の意見であった。

京都だけで約 1,000 人の診療放射線技師が就業している。近畿では 9,800 人ほど。これを 4 年ですべて受講させなければいけない。まずは講師の育成に重点を置いて計画していく方針である。

次回理事会は平成 27 年 4 月 11 日(土)京放技会議室にて開催予定

以上、各議案について採択し承認された。 (文責：中田)

▶ 理事会で決定、報告された重要事項

- 日放技より会員資格停止された 4 名の京放技会員資格も停止。
- 5 月 9 日にエーザイ京都コミュニケーションオフィスにて第 557 回研修会と第 4 回通常総会を開催予定。
- 近畿 2 府 4 県の技師会で構成される「近畿地域放射線技師会」は「近畿地域診療放射線技師会」へ名称変更された。
- 2 月 12 日の官報にて診療放射線技師法の改正が通知された。これに合わせた「法改正に伴う統一講習会」は 7 月以降に全国で開催されるが、京都では秋にある全国大会のため最初の開催は年末になる予定。

▶ 4 月以降の京放技活動

5 月 9 日(土)

第 557 回研修会・平成 27 年度通常総会

エーザイ京都会議室